

あなたならどうする？ 一子どもの権利を使ってみようー

子どもの権利を守ろうと行動する子どもたちが主人公の
ストーリーを読んで、自分たちならどうするか考えてみよう



安心して参加できるように

今日の約束



一人ひとりの意見や考えを大切にします。



相手を一方的に否定したり、ばかにしたり、攻撃したりしません。



話したくないことや言いたくないこと、個人的なことは話しません。



今日ここで、だれが何を話したのかを他の人に言いふらしたりしません。



みんなが参加し話せるように協力します。

すべての子どもには、生まれたときから 「子どもの権利」があります

子どもたちは、安心して毎日を生き、成長していけるように守られる存在です。

同時に、「子どもの権利を守って!」と行動したり、
声をあげたりすることもできます。

これから読むストーリーでは、
子どもたちが権利を守るために行動し、
その中で意見のちがう人と出会います。
子どもの権利を“道しるべ”に、
自分たちならどうするか考えてみましょう。

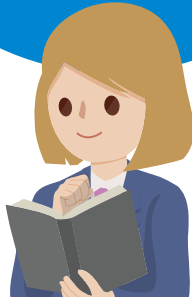


ストーリーを選ぼう

図書館

すごしやすい環境

公共の図書館が
自分や地域の人たちにとって
すごしやすくなるよう
行動する



学校

校則の見直し

高校で私服の
登校ができるように
校則を変えようと
行動する



避難所

子どもにやさしい空間

災害時の避難所で、
子どもの遊ぶ・学ぶ・
安心できる場所が
つくられるよう行動する



ストーリーは、「全員で同じストーリーを読む」
または「グループごとにちがうストーリーを読む」ようにします。

ストーリーを読もう

図書館

学校

避難所



このスライドの下にあるボタンを押して
ストーリーを選び、読み始めよう！

このストーリーでは、どのような意見のちがいがありますか？グループで考え、ワークシートに書いて整理してみよう。

主人公たち

ちがう意見の人たち



図書館

みんなで確認しよう どのような意見のちがいがありますか？

主人公たち

エアコンを
新しくする工事をして、
みんながすごしやすい
図書館をつくりたい。



ちがう意見の人たち

図書館は大切な居場所。
エアコン工事のせいで
図書館がしまってしまうなら、
今のままでいい。

学校

みんなで確認しよう どのような意見のちがいがありますか？

主人公たち

私服の登校ができるように
校則を見直し、変えたい。



ちがう意見の人たち

私服を買う
よゆうがない人もいる。
私服を着る人が多くなったら
制服を着る人が少なくなり、
浮いてしまうのが不安。

避難所

みんなで確認しよう どのような意見のちがいがありますか？

主人公たち

災害時の避難所
(Cさんたちの小学校)に
子どもにやさしい空間を
つくってほしい。



ちがう意見の人たち

子どもだけ、
特別な居場所を
つくってもらうなんてできない。
災害時は大変だし、
子どもにやさしい空間を
つくってなんて
言えない。

ちがう意見や他の人の権利も大切にしながら、
自分たちの権利を守るために・・・
あなただったら、このあとどうしますか？

ストーリーに書いてある、
ストーリーのゴール をたしかめながら
グループで話し合おう

自分たちが主人公だったらどうするか、
ワークシートに書いてみよう



グループで話し合った、 「自分たちが主人公だったらどうするか」を 全体に共有しよう

ストーリーを読んで感じたことや
「自分だったらこうする」
という考えは、人それぞれ。
自由に意見を出し合ってみよう！



ストーリーの主人公たちは、
あのあとどうしたんだろう？
続きを一緒に見てみよう！

この続きが「正解」
というわけではありません。
1つの例として見てみよう。



ストーリーの続きを読みましょう

例えば、こんなストーリーの続きもあるかも

Aさんたち図書館に来ている子どもたちや教育委員会、
近くの学校や地域団体の人たちが集まって、話し合う会議が開かれました。
そこで参加した人たちから、「エアコン工事で図書館がしまる期間中、
近くの別の公共施設を代わりに開くことはできませんか？」との案が出されました。

話し合いの結果、図書館の代わりの場所を開くこと、
その場所の運営についても相談していくことになりました。
いろいろな人たちの意見や協力により、だれの居場所も失われる
ことなく、より良い環境の図書館に変わることができそうです。



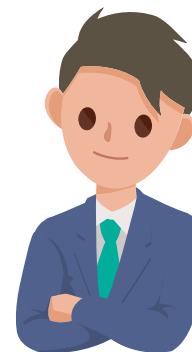
学校

ストーリーの続きを読みましょう

例えば、こんなストーリーの続きもあるかも

Bさんたちは「校則を変えたいという思いは強いけど、
浮くことや経済的な不安がある人の気持ちを置き去りにしたくない。」
「みんなが、前よりいい学校になったね、すごしやすくなったと思える
校則の見直しにしたい。」と思いました。

校長先生には、
「まだ決められません。なっとくするまで、対話を続けたい。」
と伝えました。



避難所

ストーリーの続きを読みましょう

例えば、こんなストーリーの続きもあるかも



Cさんたちは、以下のことを考えました。

- 子どもにやさしい空間に加えて、みんながリラックスできるスペースもつくるようにする（お茶を飲めるなど）
- 災害時ではなく、災害が起きる前に子どもにやさしい空間づくりのそなえをする

また、先生から「避難所は、行政の人を中心に学校の先生や地域の人たちで運営するんだよ。そのために避難所運営委員会というチームがあるみたいだよ」と教えてもらいました。

Cさんたちは、地域の避難所運営委員会のまどぐちを調べて、連絡を取ってみました。すると、「もっと詳しくみなさんの考えを聞かせてもらえませんか」と返事がありました。

何かが変わりそうです・・・！

子どもの権利を行使する、 権利が守られるよう行動することについて



自分の考えを話したり、権利を守ろうと 行動したりすることは勇気がいりますよね

「否定されるんじゃないか」、
「誰かを傷つけてしまうんじゃないか」と怖くなったり、
権利を守るための行動を
あきらめたくなったりすることもあるかもしれません
でも・・・



そもそも意見はちがって当たり前

それぞれが自分なりの考えや大切なものを持っており、
1人の「人間」として尊重される存在です

「子どもの権利を守って」と行動したり、 声をあげるときに大切にしたいこと

人権は、**どこでも・だれでも・いつでも**、生まれながらにあるものです。

「すべての人」に人権があり、

「すべての子ども」に

子どもの権利があります。



自分の権利を行使する（使う）とき

他の人の権利も大切にする

権利を守るための行動には

**自分のためだけでなく
ほかの人の権利を守るための
行動もある**

ストーリーでは主人公たちが権利を守るために、 自ら行動をおこしていましたが・・・

例 性暴力から守られる(第34条)



例 戦争・紛争から保護される(第38条)



権利が侵害された様々な状況で、
自ら行動しないと権利が守られないということではありません。

みなさんの相談にのってくれる、助けてくれる相談先もあります。
このウェブページの1番下にある「困ったときの相談窓口」も見てみましょう。

子どもの権利の大切なポイント

すべての子どもは、無条件に権利を守られる存在です。
同時に、「権利の主体」です。

権利が守られるよう

求める

行動する

こともできます。



つまり、権利を行使する（使う）ことができるのです。

まとめ

子どもの権利を行使する、 権利が守られるよう行動するとき

自分や周りの人の意見や権利を大切に

あきらめずに、周りの人の力も借りながら
行動をおこしてみよう。



もっと学んで
みたい人へ



ストーリーに関わりがありそうな子どもの権利は何条かな？
いろいろな条文がストーリーに関わっています！
「子どもの権利条約条文一覧」を読んで見つけてみてね。